



秋の日差しの中の列車たち(11/8・那珂湊駅)

おらが湊鐵道応援団報

第164号
勝田 | 阿字ヶ浦

急行あじがうら号 快速なかみなと号 初詣・初日の出は湊線で

1日フリー乗車券を今回限り600円で発売

先着乗車300名様には「開運福袋」もプレゼント 小人は300円

海浜鉄道と応援団の共同企画で、恒例の初日の出・初詣列車の運行を2021年(令和3年)元日(金)におこないます。海浜鉄道発足前の2008年に始まったこの企画は今回で14回目です。今回はひたちなか市の補助事業で、通常1,000円のフリー乗車券が大人600円・小人300円で発売されます。また、密を避けるため、あじがうら号(3両編成)の乗車定員は先着240名とさせていただきます。超えた場合には、なかみなと号へご案内します。日本列島では犬吠埼に次いで早い初日の出と初詣のビューポイントへは応援団員がご案内を致します。



磯崎海岸から眺めたことしの初日の出

磯崎海岸から眺めたことしの初日の出

前売り「1日フリー乗車券」を12月1日(火)から発売

正月三が日のうち一日に限り有効の「1日フリー乗車券」を那珂湊駅と勝田駅湊線改札で12月1日(火)から1月3日(日)まで販売します。(ひたちなか商工会議所本所・支所は12/7~25に販売) 価格は大人600円、子ども300円。購入の方には「地方民鉄旅ガイド」をプレゼント(先着順)します。※あじがうら号・なかみなと号とも通常の乗車券・定期券でも乗車できます。※今回は、あじがうら号の指定席はございません。

急行あじがうら号

勝田5:30発ー那珂湊5:46ー阿字ヶ浦5:57着(工機前は停まりません)
阿字ヶ浦駅ー堀出神社ー酒列磯前神社ー磯崎灯台下(初日の出)

先着300名様に、ホテルニュー白亜紀無料入湯券(元日午前10時から使用可能)、ほしほも、携帯カイロなど「開運福袋」をプレゼント。各神社やホテルで豚汁や甘酒などをサービス、磯崎灯台下では「和奏(わかな)」による和太鼓演奏。

快速なかみなと号

勝田6:05発ー那珂湊6:19着ー磯崎6:30ー阿字ヶ浦6:32着
那珂湊駅ー湊公園(初日の出)ー天満宮ー檀原神社ー四郎介稲荷
※快速なかみなと号は那珂湊方面の初日の出・初詣企画です。

コロナウイルス感染症予防のため、必ずマスク着用でご参加ください。

【主催】ひたちなか海浜鉄道株式会社・おらが湊鐵道応援団
【協力団体】酒列磯前神社・堀出神社・檀原神社・天満宮・四郎介稲荷神社・茨城中央ほしほも協同組合・ホテルニュー白亜紀・ひたちなか商工会議所



駅前イルミネーション まちなか賑わい応援キャンペーン

ことしも12月1日から来年1月31日まで、那珂湊・勝田・佐和の各駅で駅前イルミネーションが点灯されますが、コロナ禍で売上が減少している飲食店や小売店を応援するため、ひたちなか商工会議所では市の補助を受けて「まちなか賑わい応援キャンペーン」を実施します。駅前イルミの期間中、これをスマホなどで撮影した写真または、サポーターズバッジを参加店に提示すると、1人あたり税抜1,000円以上の買物や飲食、テイクアウトで500円の割引が受けられます。参加店舗は市役所と商工会議所のHPをご覧ください。※ことしは密を避けるため、点灯式は実施しません。那珂湊駅の点灯時間は午後4時半から11時までです。

冬バージョンの応援券と硬券フリー切符を発売

12月1日から来年2月末日まで、湊線応援企画の「湊線応援券」と「特製硬券1日フリー切符」の冬バージョンを那珂湊駅と勝田駅湊線窓口で販売しています。セット価格は600円(1月11日までの予定)です。切符は特大の「D型倍寸硬券」で、旧型車の4連走行のイラストが描かれています。また応援券は、オーロラの夜空の下を走る湊線のイメージ写真です。



駅的环境整備ありがとうございます

駅名	12月6日(日)	1月10日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	神敷台 部田野小谷金 十三奉行	湊本町 湊中央 商店街
殿山	和田町・殿山町 七町目・牛久保町	
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

※朝8:30(中根駅と、高田の鉄橋駅は8:00)から実施します。
※1月の環境整備は第2日曜日です。



高田の鉄橋駅にプランター設置

湊中学区地域を住みよくなる会の環境部会のみなさんが、11月8日、パンジーなどを植えたプランターを高田の鉄橋駅に設置してくれました。ありがとうございました=写真右。

大平睦会が全国表彰

長年にわたり金上駅の駅舎や花壇整備を続けている「大平睦会」のみなさんが、全国老人クラブ連合会の「令和2年度活動賞」でこのほど会長表彰を受賞されました。金上駅の周囲はいつも四季の花々で彩られています。受賞おめでとうございます。



新型コロナウイルス終息までともに頑張りましょう!

運転士から自治会長 ずっと湊線を応援

阿字ヶ浦自治会長 川崎寿志さん

今年度、阿字ヶ浦自治会長になりました川崎寿志です。コロナ禍の中、前黒澤紳一会長から引き継ぎ半年活動してまいりました。今年度は自治会のイベントがコロナ禍で次々中止になる中、今年度は月1回の役員会を兼ねた、阿字ヶ浦駅の花壇の除草作業が主な活動になっています。11月には「はまぎく」が満開になり、綺麗な花壇を見ると充実感がわきます。



また、海浜鉄道には特に思い入れがあります。1つは、前職がJRの運転士をしていた関係で、電車・気動車が好きだったこと。常磐線が勝田始発の乗務の時にはよく海浜鉄道のホームを眺めていました。発車が重なった時には負けまいとノッチを入れましたが、3番線の時には35キロしか出せなかったため必ず負けていました。また、学生時代に通学で海浜鉄道(湊線)に大変お世話になったことです。湊線には数々のロマンがありました。

もう1つは趣味の音楽を活かし、みなと源太さんと共に活動してきたことです。廃線の危機の時、源太さんから「季節の風」を聞かせてもらって、四季折々の湊線の風景に感銘し、何とか応援できればとアレンジに協力させてもらいました。

阿字ヶ浦自治会としても花壇の清掃活動を通してひたちなか海浜鉄道応援団と共に活動してまいります。応援団も様々なイベントを企画しておりますが、11月には満開のはまぎくを見ていただき、元日には初詣・初日の出列車に乗って、阿字ヶ浦・磯崎海岸から見る初日の出も堪能していただきたいと思います。

令和2年度 上半期 旅客運輸収入・輸送人員ほぼ半減 コロナ禍直撃 震災時上回る落ち込み

令和2年度上半期(4月~9月)の営業成績がまとまりました。旅客運輸収入は6,021万83円(対前年比52.2%、5,517万9402円減)、輸送人員は32万9,460人(同56.8%、25万673人減)といずれも前年に比べほぼ半減する結果となりました。

収入については、コロナの影響により、湊線の最盛期であるゴールデンウィークの観光需要が皆無だったこと、花火大会など沿線イベントの開催が見送られたことなどにより、定期外旅客収入が前年比39%と6割以上の減収となったことが大きな要因となっており、東日本大震災被災により約4か月間バス代行を行った平成23年度を下回る開業以来最低の成績となっています。

湊線は、存廃問題、震災に続く第3の危機を迎えていると言えるでしょう。が、明るい兆しが見えないわけではありません。輸送人員については、平成23年度上期の31万662人を若干上回る数値となっています。震災後、市民や応援していただくみなさんと努力を重ねて来た結果、3年前から年間輸送人員100万人を維持し、収支もほぼ均衡する状況までに経営が安定してきましたが「その振出しに戻っただけ」とも考えられます。

幸い、定期のご利用については、第2四半期に入り前年比1割強の減少に止まっています。来春の美乃浜学園の開校も追い風となり、比較的安定した挽回可能な状況と言えるでしょう。

定期外については、落ち込みの大きい観光利用が以前の状態に戻るのには難しいと考えられます。が、ウイズコロナ、アフターコロナを意識した、沿線観光地と鉄道とのタイアップによる新しいタイプのバスツアー、車庫見学や車両貸切など湊線そのものをウリにする誘客策、地の利を活かしたフィルムコミッションとの連携によるロケの誘致などが注目を浴び、既に成果を出しつつあります。また、これまで同業他社に比べ弱かった鉄道グッズの販売などにも伸びしろはかなりあり、それら付加価値の創出によって減収の穴を埋め、さらに上乗せを図ることは十分可能と思われる。

とはいえ、再び経営の安定を確保するには、相当の期間が必要です。今後とも、地域と一体となりまちと鉄道の活性化に向け努力を続けてまいりますので、より一層のご支援をお願い申し上げます。(海浜鉄道・吉田)

野菜と干物の朝市 ■12月6日(日) 午前9時~11時頃まで
毎月第一日曜日に開催 ■那珂湊駅1番線ホーム ※ホームへの入場は無料です。

「応援団報」カラー版をパソコンで http://minatosen.com 《湊線どっと混む》